

令和 2 年度  
掛川市 男女共同参画に関する市民意識調査結果  
【概要版】

令和 3 年 3 月

【調査の目的】

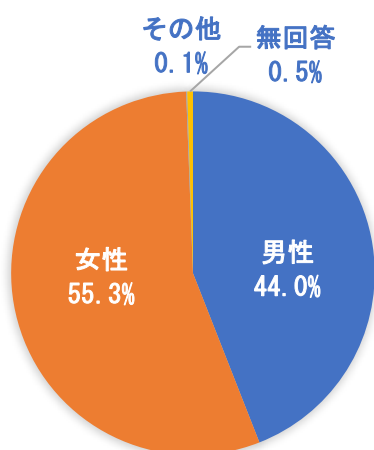
男女共同参画に関する意識やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）などについて意見を聞き、「第 4 次掛川市男女共同参画行動計画」策定の基礎資料とするため、調査を実施しました。

【調査の概要】

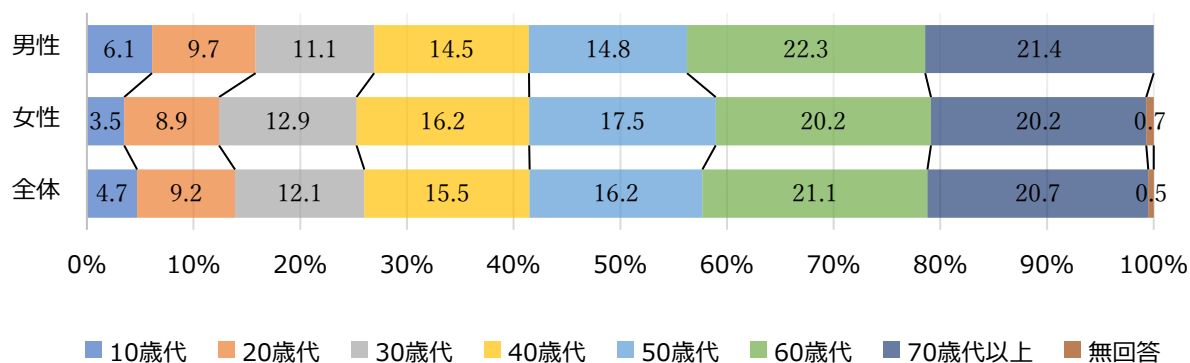
- (1) 対象者 掛川市在住の 18 歳以上の方の中から 1, 800 人を無作為抽出
- (2) 調査期間 令和 2 年 12 月 4 日から令和 2 年 12 月 18 日
- (3) 調査方法 郵送による配付・回収
- (4) 回収状況 815 件（有効回答率 45.3%）

【回答者の属性】

●性別

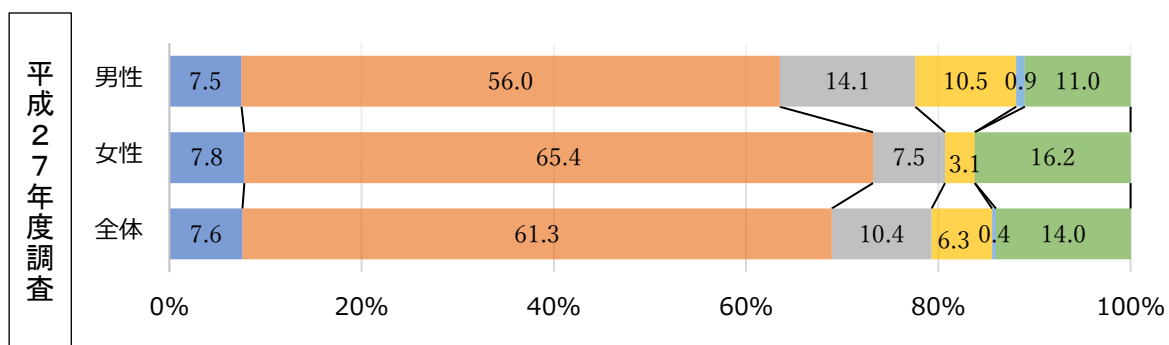
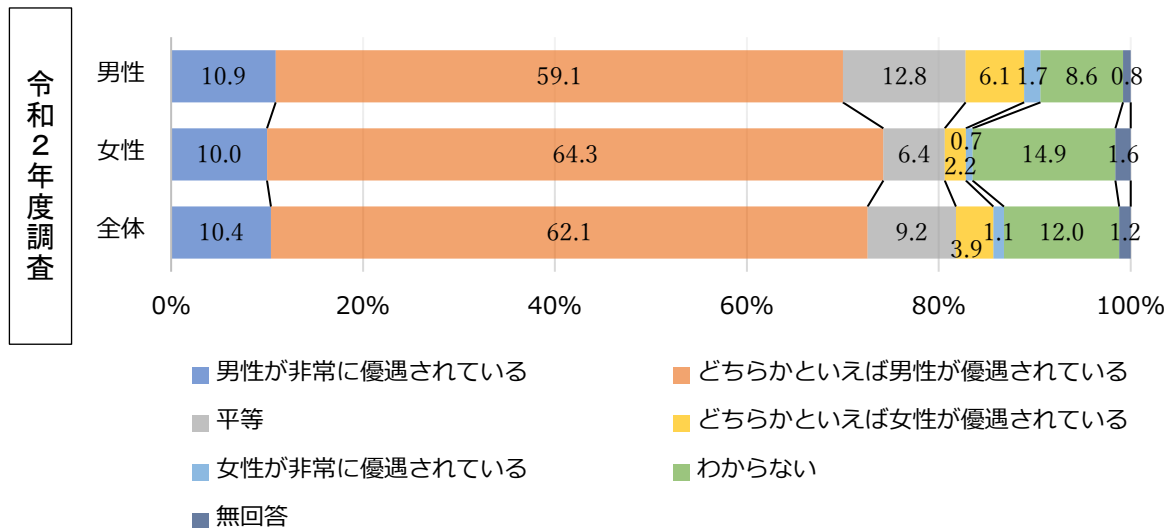


●年齢



# 1 男女平等に関する意識について

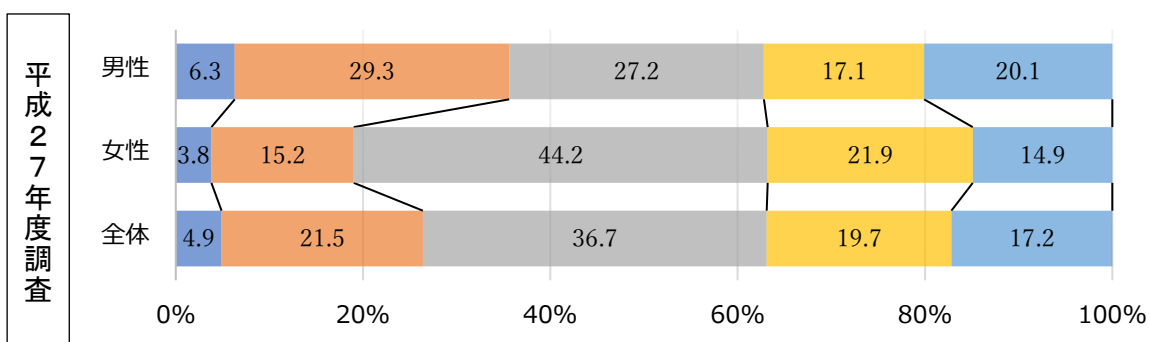
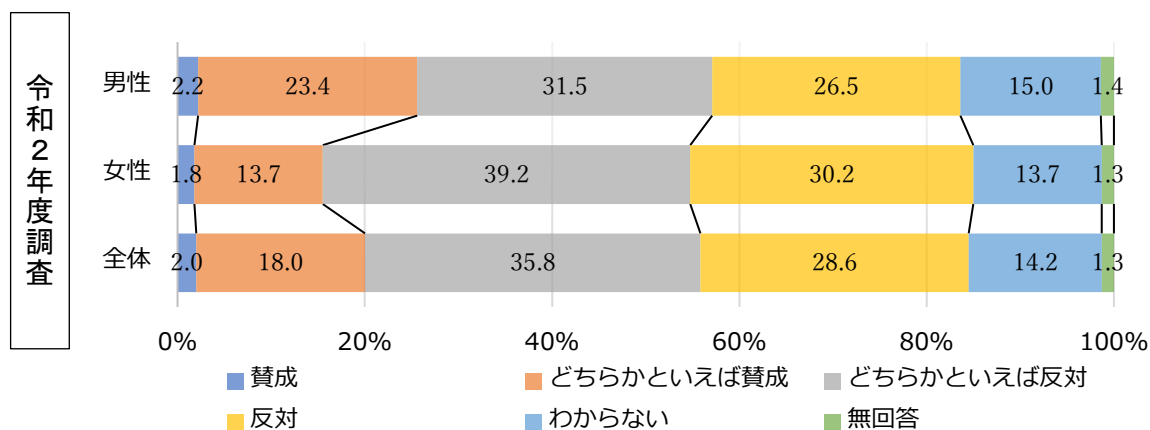
問8 あなたは、社会全体で見た場合、男女は平等になっていると思いますか。  
(1つに○)



- ① 全体の72.5%の人が「男性が優遇されている」と感じています。これは、前回調査時の68.9%よりも3.6ポイント増加しています。
- ② 「男性が優遇されている」と感じている10代の割合は、男性が40.9%、女性が50.0%と、他の年代よりも低い割合となっています。(9ページ)
- ③ 「平等」と考える人の割合は男性が12.8%、女性は6.4%となり、女性の割合が男性より少なく、前回と同様の結果となっています。

## 2 固定的性別役割分業の考え方について

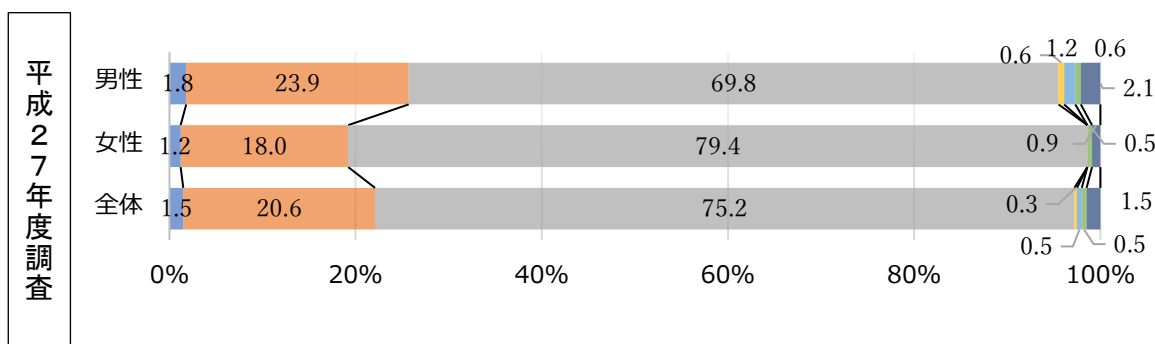
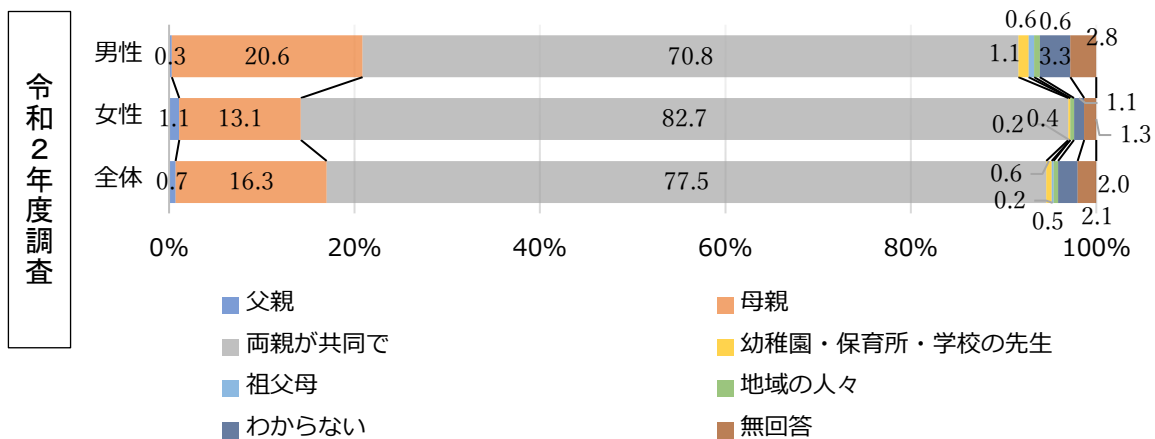
問 10 「男は仕事、女は家庭」というような、男女の役割を固定的に考える性別役割分業の考え方についてどのように思いますか。(1つに○)



- ④ 固定的性別役割分業の考え方は、「賛成」とする肯定的な男性が25.6%と依然女性よりも多い結果となりました。
- ⑤ 男性における肯定的な意見は、前回調査時の35.6%から10ポイント少なくなっています。
- ⑥ 年代別にみると、10代の女性の「賛成」が12.5%と、他の年代よりも高い割合となっています。(20ページ)

### 3 子育てについて

問 11 一般的に子育ては誰が中心的な役割を担うのが良いと思いますか。(1 つに○)



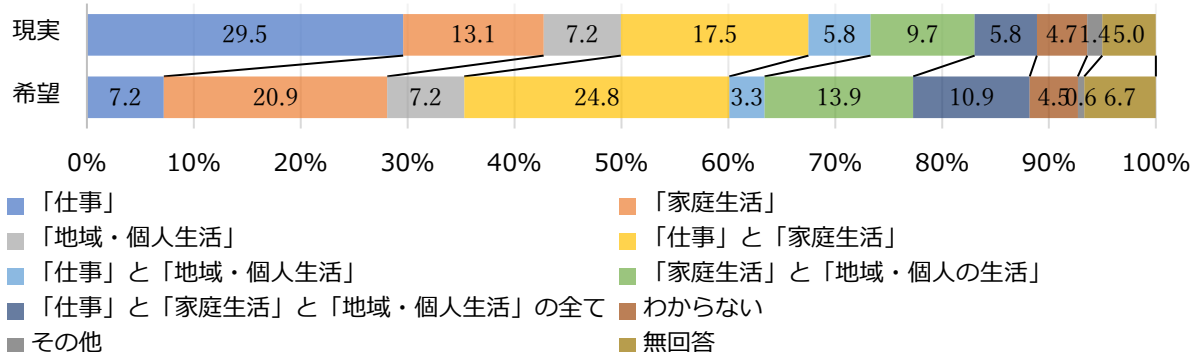
- ⑦ 子育ての中心的な役割について、「母親」の割合の全体で17.0%と、前回調査の22.1%よりも5.1ポイント低くなっている。
- ⑧ 「両親が共同で」と考える人は、全体で77.5%であり、男女共に高い割合になっています。

## 4 ワーク・ライフ・バランスについて

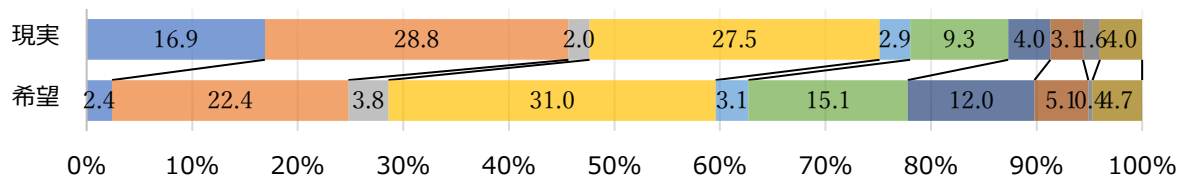
問 15・問 16 生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお伺いします。（1 つに○）

### 令和 2 年度 調査

#### ● 男性

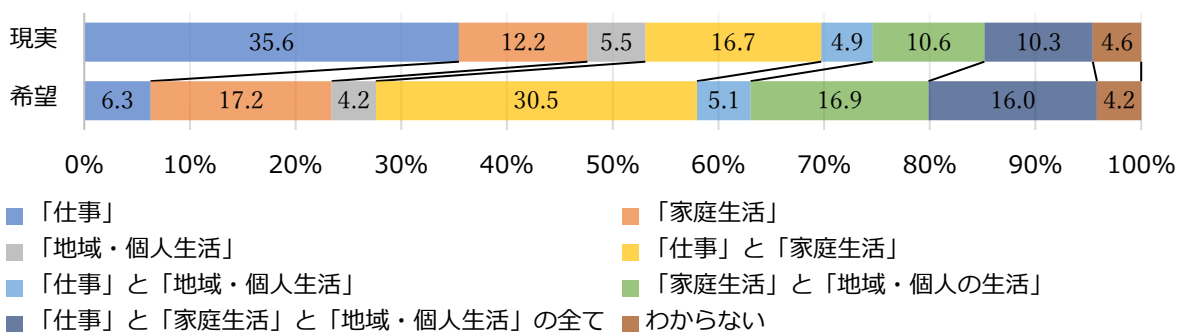


#### ● 女性

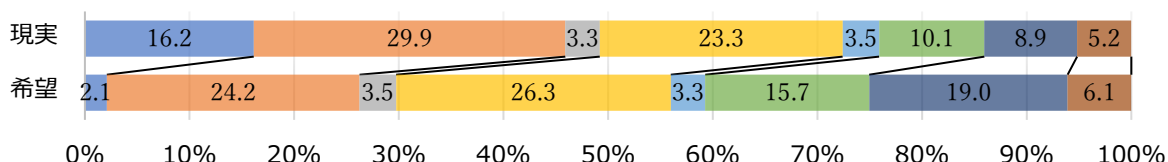


### 平成 27 年度 調査

#### ● 男性



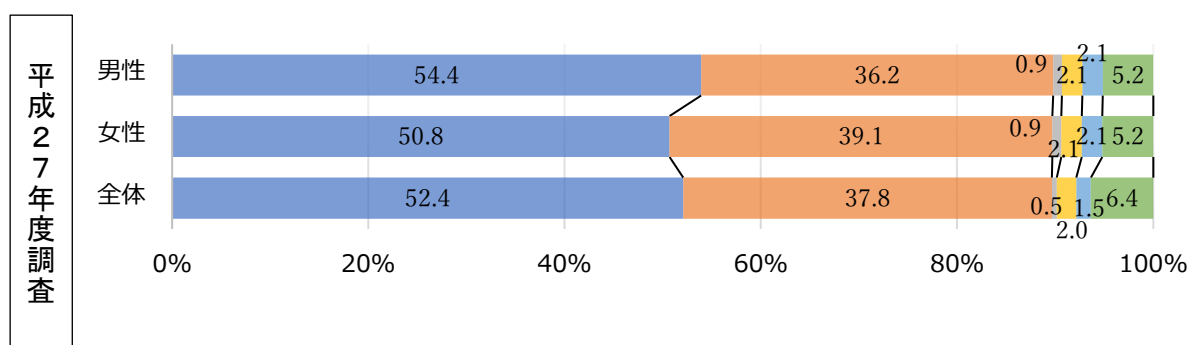
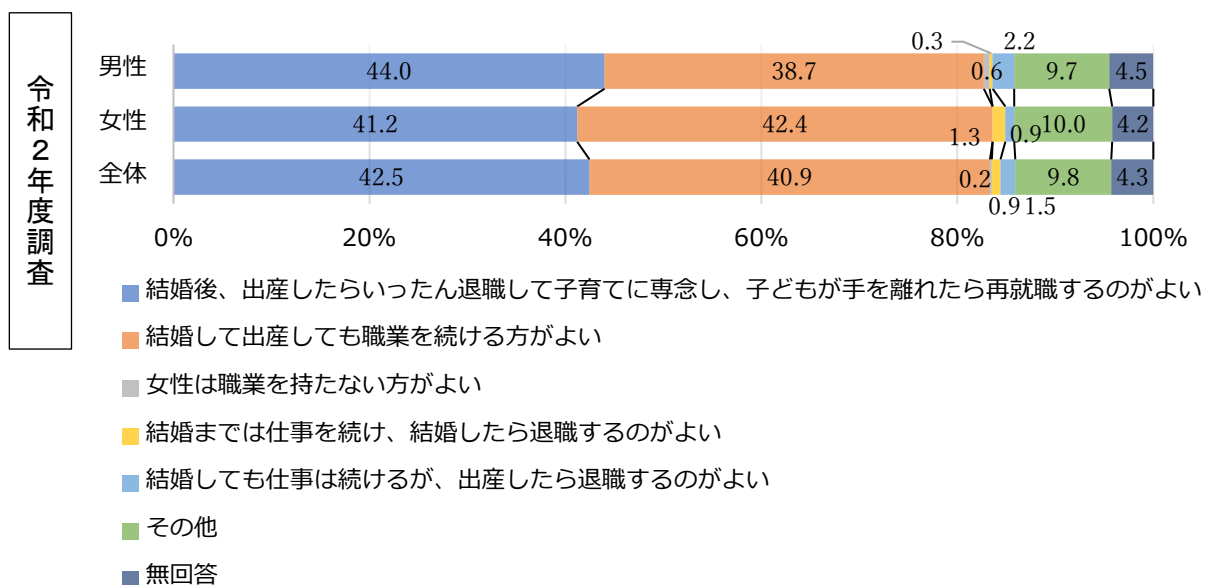
#### ● 女性



- ⑨ 男女とも、「仕事」と「家庭生活」を優先したい割合が高くなっています。  
 ⑩ 現実には、男性において「仕事」を優先している割合が、前回調査よりも少なくなっていますが、最も高い割合となっています。

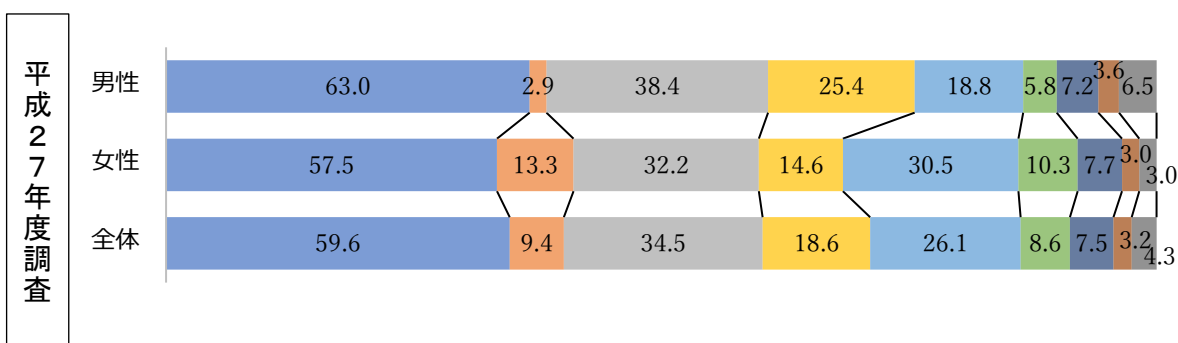
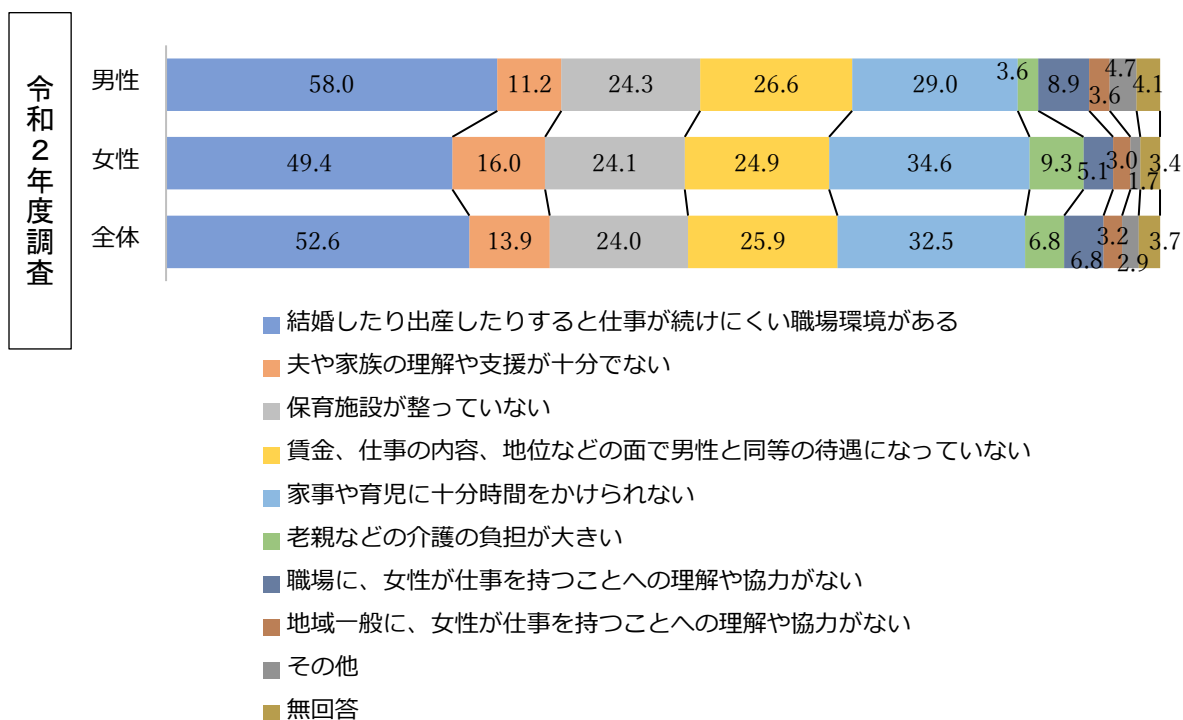
## 5 職業生活について

問 27 一般的に女性が職業を持つことについて、あなたはどのように考えますか。  
(1つに○)



- ⑪ 「結婚後、出産したらいったん退職して子育てに専念し、子どもが手を離れたら再就職するのがよい」の割合が、全体で42.5%で、前回調査の52.4%より9.9ポイント減っています。
- ⑫ 一方、「結婚して出産しても職業を続ける方がよい」が、40.9%で、前回調査の37.8%より3.1ポイント増加しています。

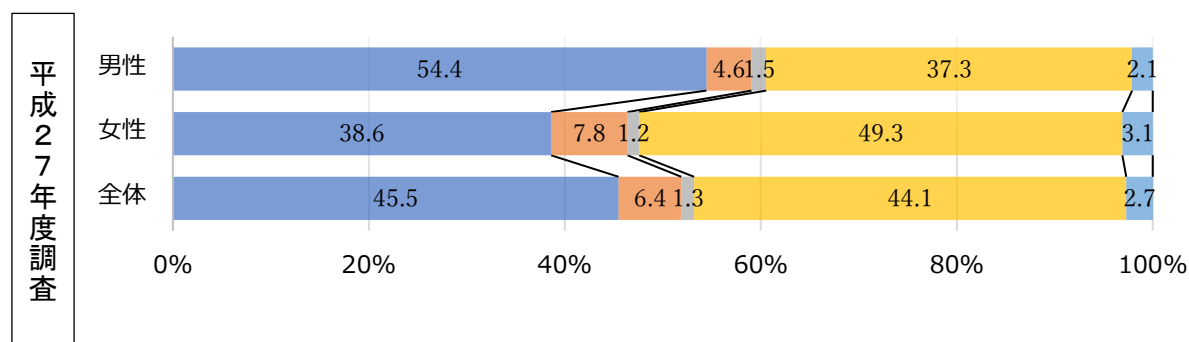
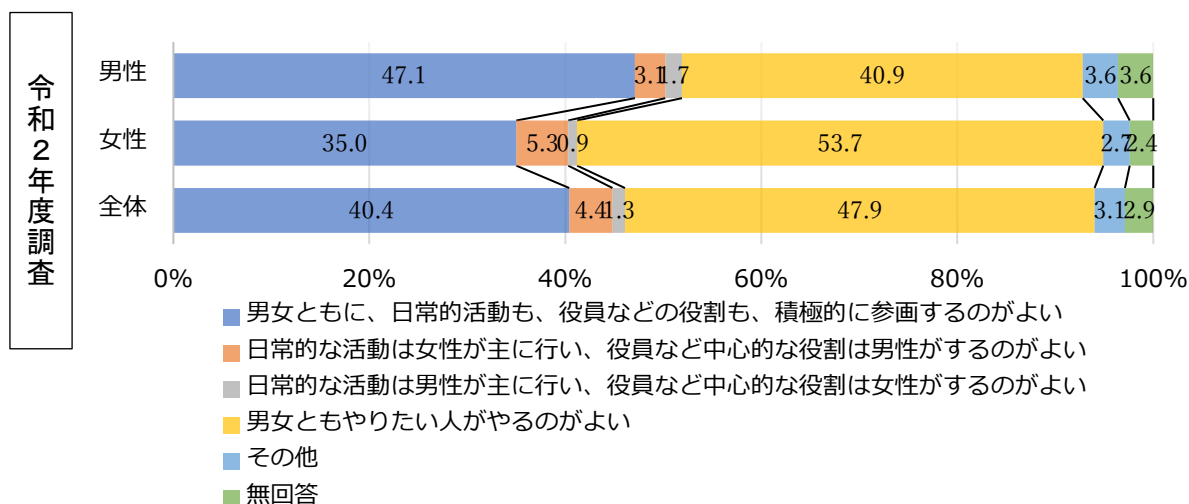
問 29 女性が働きやすい状況の原因は何だと思えますか。  
(あてはまるもの2つ以内に○)



- ⑬ 「結婚したり出産したりすると仕事が続けにくい職場環境がある」が、前回調査より7ポイント減少していますが、52.6%と高い割合になっています。
- ⑭ 「夫や家族の理解や支援が十分でない」が、前回調査より4.5ポイント増加し、13.9%となっています。
- ⑮ 「保育施設が整っていない」は、前回調査より10.5ポイント減少し、24.0%となっています。
- ⑯ 「賃金、仕事の内容、地位などの面で男性と同等の待遇になっていない」が前回調査より7.3ポイント増加し、25.9%となっています。

## 6 地域活動への参画について

問 24 自治会・地区まちづくり協議会・町内会・PTAなどの地域活動への男女の参画についてどのように考えますか。(1つに○)

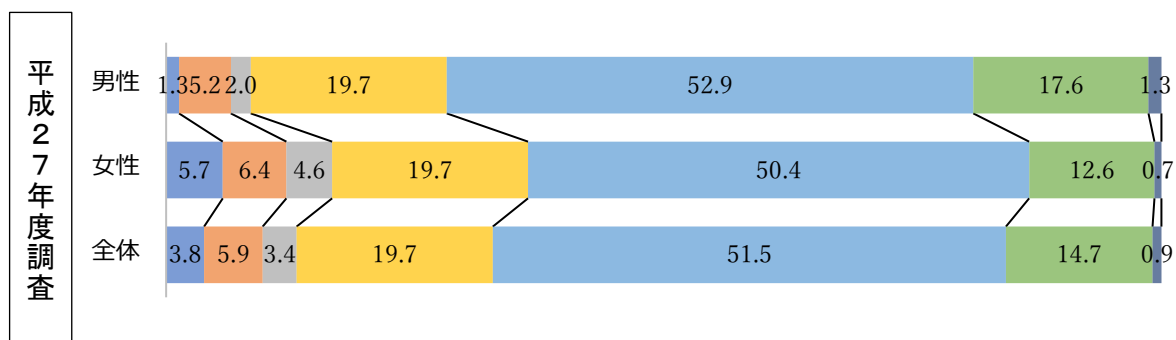
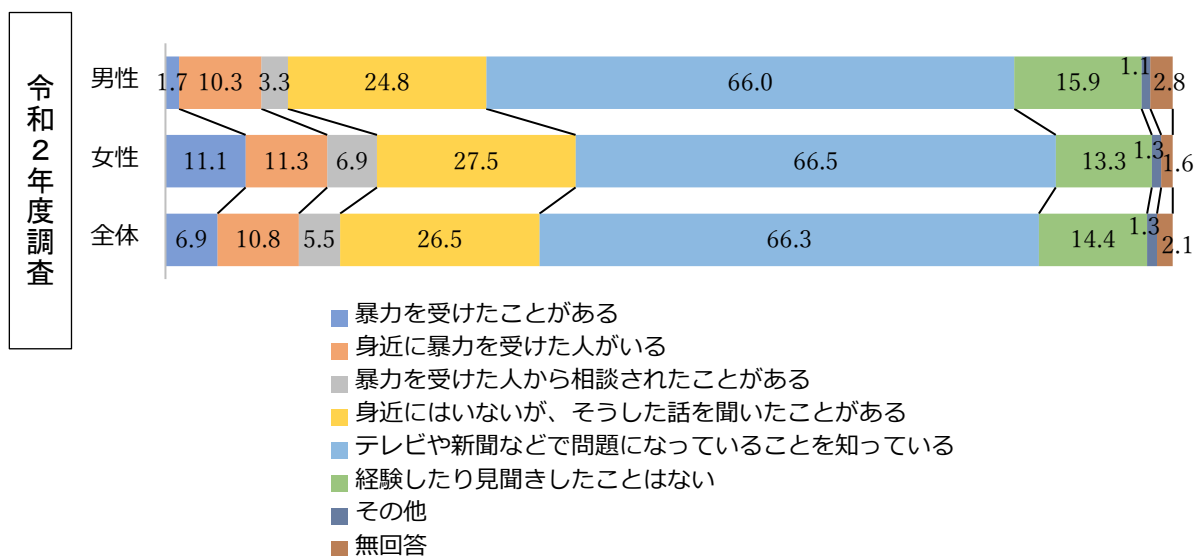


- ⑰ 全体で、「男女ともに、日常的活動も、役員などの役割も、積極的に参画するのがよい」が40.4%で、前回調査より5.1ポイント減少しています。
- ⑱ 「男女ともやりたい人がやるのがよい」が47.9%で、前回調査より3.8ポイント増加しています。



## 7 DVについて

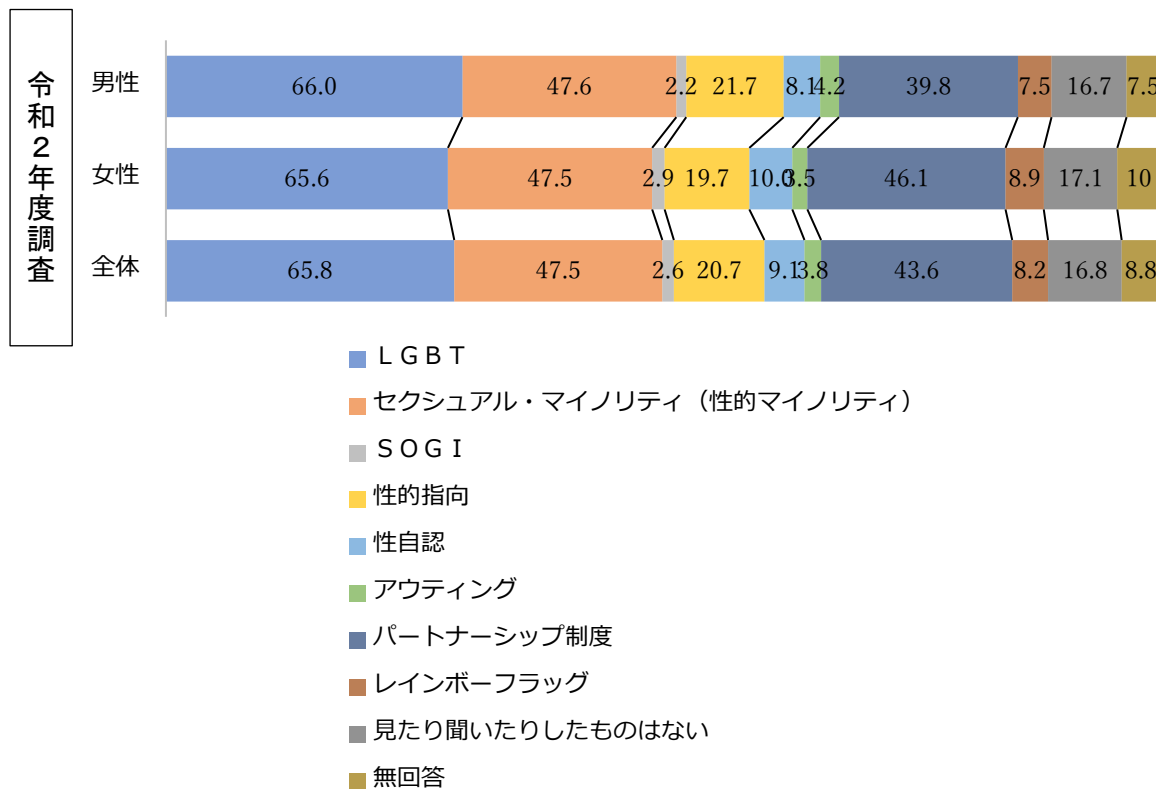
問 21 これまでに、「夫や妻・恋人など親しい間柄にある男女間の暴力」(DV)について、経験したり見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



⑱ 女性の「暴力を受けたことがある」の割合が、前回調査よりも5.4ポイント増加しています。全体でも、3.1ポイントの増となっています。

## 8 LGBTについて

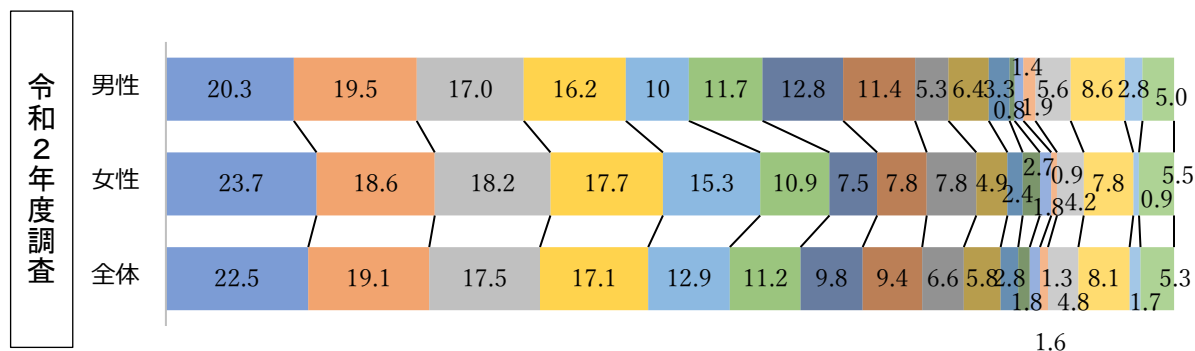
問 34 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを教えてください。（あてはまるものすべてに○）



⑳ 全体で、LGBTに関連するいずれかの言葉を見たり聞いたりしたことある方の割合は74.4%となっています。

## 9 男女共同参画推進施策について

問 40 男女共同参画を進めるため、掛川市の施策に希望するものは何ですか。  
(あてはまるもの2つ以内に○)



- 高齢者を対象とした各種施設・サービスの整備
- 労働時間の短縮など仕事と家庭の両立に向けた啓発
- 男女平等、男女の相互理解・協力についての普及・啓発
- 保育所、放課後児童クラブ（学童保育）などの施設・サービスの整備
- 学校教育での男女平等や相互理解のための学習の充実
- 男女の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの機能整備
- 政策・方針決定過程への女性の積極的登用
- 経営者や事業主を対象にした職場における男女の均等な取り扱いについての周知徹底
- 女性の雇用促進と女性の職業訓練の充実
- 女性の学習の場の充実、女性リーダーの養成
- 男性に対する意識啓発事業の推進
- 女性のための法律相談の周知徹底
- 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流の推進
- 女性に対する意識啓発事業の推進
- 特にない
- わからない
- その他
- 無回答

② 男女とも、「高齢者を対象とした各種施策・サービスに整備」が最も高く、  
ついで、「労働時間の短縮など仕事と家庭の両立に向けた啓発」の割合が高い  
結果となりました。